

2024年3月25日

一般社団法人 日本広告業協会

2023年クリエイター・オブ・ザ・イヤーに 高崎 卓馬 氏 (dentsu Japan/電通コーポレートワン)

一般社団法人 日本広告業協会（理事長 五十嵐博・電通グループ 取締役 代表執行役 社長 グローバル CEO）主催による2023年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞は、3月11日に審査会を実施し受賞者を選出、第338回理事会において承認、決定した。

同賞は、当協会会員社の中で「クリエイティビティを発揮して顧客や社会の課題解決をする施策の実施までを牽引し、広告会社の価値向上や機能の拡張につながるクリエイティブワークを、1年間に、複数、生み出したクリエイター個人を表彰するもの」で、1989年創設以来、今年度で35回目を迎える。

今回からは審査員の顔ぶれも新たに、「広告会社の価値の向上につながる『課題解決のアイデア』『クリエイティブのレベルを引き上げるクオリティ』『クリエイティブの領域の拡張性』が優れていること」の3つを基準として厳正な審査がなされた。

2023年は、会員各社の選考を経てノミネートされた30名（21社）のクリエイターから、別紙の通りクリエイター・オブ・ザ・イヤー1名、メダリスト11名が選ばれた。

クリエイター・オブ・ザ・イヤーに選ばれた高崎卓馬氏（dentsu Japan/電通コーポレートワン）は、広告の領域を超え、映画という形でクリエイティブの力を世界に示した。従来の日本映画の作り方でもなく、従来の広告的手法でもない、先例のない方法でそれを実現し、社会現象を起こした。また脚本・プロデュースを手がけた映画はカンヌ国際映画祭、米国アカデミー賞等、国内外多数の映画賞の受賞・ノミネートにつながるなど、まさに広告クリエイティブの圧倒的な可能性を世界に示したことに加え、広告業界のすべての人、とりわけ若手に勇気を与えたことが評価された。

表彰は、5月31日に開催予定の2024年度定時総会後の記念式典にて行う。

また、同時にJAAAレポート臨時増刊号『2023年クリエイターズ・オブ・ザ・イヤー特集』を発行し、受賞者並びにノミネートを広く紹介する。

2023年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞 受賞者一覧

< 2023 CREATOR OF THE YEAR 1名 >

- ・高崎 卓馬
dentsu Japan／電通コーポレートワン グロースオフィサー／
エグゼクティブ・クリエーティブ・ディレクター

< 2023 CREATOR OF THE YEAR MEDALIST 11名 >

- ・永井 貴浩
博報堂ケトル／博報堂 アートディレクター
- ・片岡 良子
ADKマーケティング・ソリューションズ／CHERRY コピーライター
- ・小布施 典孝
dentsu Japan／電通コーポレートワン グロースオフィサー／
フューチャー・クリエーティブ・センター長
エグゼクティブ・クリエーティブ・ディレクター
- ・原口 亮太
TBWAHAKUHODO Disruption Lab クリエイティブディレクター
- ・村田 俊平
電 通 第3CRプランニング局 クリエーティブ・ディレクター／CMプランナー
- ・有元 沙矢香
電 通 zero クリエーティブ・ディレクター／コピーライター
- ・小島 翔太
博報堂 CREATIVE TABLE 最高 生活者エクスペリエンスクリエイティブ局
クリエイティブディレクター
- ・松尾 昇
九州博報堂 クリエイティブ局 コピーライター
- ・大石 将平
TBWAHAKUHODO Disruption Lab クリエイティブディレクター／コピーライター
- ・森井 聖浩
東急エージェンシー 第3ビジネスデザイン本部 関西支社 クリエイティブディレクター
- ・高橋 尚睦
読売広告社 クリエイティブディレクター／コピーライター

以 上（敬称略・順不同）